

製品名:	トランスコピー液 (TRANSCOPY LIQUID)	ページ数:	1/9
最終改訂日:	2020-01-30	印刷日付:	2020-01-30
文書番号:	M0001	安全データシート整理番号:	JP-JA/20.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名: トランスコピー液 (TRANSCOPY LIQUID)
カタログ番号 40900090, 40900092

CAS番号 141-78-6

EC 番号: 205-500-4

"官報公示整理番号" / "化審法
番号": 01-2119475103-46-xxxx

容器サイズ: 40 ml

推奨用途及び使用上の制限

用途: 材料観察表面の複製システム。

使用上の制限: 使用してはならないとされる用途は特にない。 (*)

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者: ストルアス社 (Struers ApS)
Pederstrupvej 84
DK-2750 Ballerup
Tel:+45 44 600 800

国内供給者: 株式会社ストルアス
〒141-0022東京都品川区東五反田3-14-13
高輪ミュージビル1F
ソリューションセンター
Tel:03-5488-6207
Fax:03-5793-1081

安全性データシートのオーサ
リングを担当。 安全性データシートのオーサリングを担当。 DHI
この安全性データシートの内容に対する質問の宛先はこちら :
struers@struers.dk

緊急連絡電話番号

公益財団法人 日本中毒情報センター (JPIC): 大阪中毒110番 (365日 24時間対
応) 072-727-2499, つくば中毒110番 (365日 9時 ~ 21時対応) 029-852-9999.

03-5488-6207 (株式会社ストルアス)
(営業時間のみ)

安全データシート

製品名:	トランスコピー液 (TRANSCOPY LIQUID)	ページ数:	2/9
最終改訂日:	2020-01-30	印刷日付:	2020-01-30
文書番号:	M0001	安全データシート整理番号:	JP-JA/20.0

2. 危険有害性の要約

化学品の分類

JIS Z 7253:2012に基づき分類:
引火性液体2
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性2A
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 3 , 麻酔作用

ラベル要素

(*)



危険

内容物: 酢酸エチル (医薬用外劇物)
H225 引火性の高い液体及び蒸気。
H319 強い眼刺激。
H336 眠気又はめまいのおそれ。
P210 熱, 高温のもの, 火花, 裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P501 内容物/容器は市町村の規制に従って廃棄すること。

他の危険有害性

製品は引火性が高く、標準室温でも爆発性蒸気/空気混合物を生成することがある。有機溶剤は、吸入及び摂取により体内に吸収され、脳を含む神経系に永久的損傷を起こすことがある。

PBT/vPvB: 使用可能な情報は無い。

3. 組成及び成分情報

化学物質

本製品は下記を含む: 溶剤。

JIS Z 7253:2012に基づき分類:

%:	CAS番号	EC 番号:	"官報公示整理番号" / "化審法番号":	化学名:	危険有害性 ID	注:
100	141-78-6	205-500-4	-	酢酸エチル	引火性液体 区分2 眼刺激性 区分2 特定標的臓器毒性 (単回暴露) 区分3 (麻酔作用)	

安全データシート

製品名:	トランスコピー液 (TRANSCOPY LIQUID)	ページ数:	3/9
最終改訂日:	2020-01-30	印刷日付:	2020-01-30
文書番号:	M0001	安全データシート整理番号:	JP-JA/20.0

4. 応急措置

応急措置の説明

熱傷: 水で直ちに洗い流す。洗い流している間、患部に付着していない衣服を脱がせる。救急車を手配する。病院への搬送中、引き続き洗い流す。

吸入: 負傷者を空気の新鮮な場所に移し、観察下で安静を保つ。気分がすぐれない場合、病院に搬送し、これらの指示書を持参する。

皮膚への接着: 汚染された衣服を脱がせ、水で皮膚を十分にすすぐ。

眼に入った場合: すぐに大量の水で15分以上、洗い流すこと。コンタクトレンズを外し、まぶたを大きく開く。刺激が継続する場合、病院への搬送中に引き続き洗い流す。また、これらの指示書を持参する。

経口摂取: 直ちに口をすすぎ、大量の水を飲む。被災者を観察下に置く。意識を喪失した場合は、これらの指示を持参して病院に搬送する。無理に吐かせてはならない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状 / 影響: 健康に関する影響と症状の詳細については項目11を参照してください。

医師に対する特別な注意事項

医学的措置 / 治療: 症状を治療する。

5. 火災時の措置

消火剤

消火剤: 水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、乾燥粉末消火薬剤または水霧で消火する。

使ってはならない消火剤: 水噴射は火災を広げることになるため、消火器として使用してはならない。

火災時の特有の危険有害性

特殊な危険有害性: 蒸気は空気より重く、床に沿って容器の底に移動することがある。蒸気は、火花、高温表面または残り火で発火することがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火を行う者の保護具: 消化時の呼吸保護の選択: 職場で指定された一般的火災対策に従う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

非緊急社員用: 喫煙してはならず、直火または他の発火源を使用してはならない。蒸気の吸入ならびに皮膚及び目への接触を避ける。保護措置に関しては項目8を参照。

緊急対応要員用: 推奨事項は特にない。保護措置に関しては項目8を参照。

環境に対する注意事項

環境対策: 排水溝、水路または地面に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法: 不燃性吸湿材で漏洩物を吸収する。

その他の節の参照

参考資料: 保護措置に関しては項目8を参照。廃棄物処理に関しては項目13を参照。

安全データシート

製品名:	トランスコピー液 (TRANSCOPY LIQUID)	ページ数:	4/9
最終改訂日:	2020-01-30	印刷日付:	2020-01-30
文書番号:	M0001	安全データシート整理番号:	JP-JA/20.0

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全な取扱いに関する勧告: 蒸気の吸入と皮膚及び目への接触を避ける。化学物質の適切な取扱いと衛生習慣を守る。

技術的措置: 喫煙や直火その他発火源の使用をしないこと。静電気放電の予防対策を講じる。

技術対策: 機械による換気が必要な場合があります。水供給及び洗眼施設への容易なアクセスを提供する。

保管

安全な貯蔵に関する技術的措置: 引火性液体に関する規則に従う。

貯蔵状態: 厳重に密閉した元の容器で、換気のよい、乾燥した涼しい場所に貯蔵する。酸化剤との接触を避ける。

具体的な最終用途

具体的な用途: 使用可能な情報はない。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

管理濃度: 酢酸エチル: 200 ppm

職業暴露限界:

CAS番号	化学名:	下 記の状 態とし て:	暴露限界:	タイプ:	注:	リファレン ス:
141-78-6	酢酸エチル	-	200 ppm 720 mg/m3	-	-	JSOH

設備対策

設備対策を: 適切な換気を供給する。職業暴露限界を守り、蒸気吸入リスクを最小化する。作業場には洗眼ボトルを用意しなければならない。
有機溶剤中毒予防規則: 第二種有機溶剤等。

人体の保護: 個人用保護具は、各国の関連規格に準拠し、個人用保護具供給者と相談して選定しなくてはならない。

呼吸用保護具: 換気が不適切であり作業が短時間の場合は、適切な呼吸装置を使用する。タイプ A2 のガスフィルター付き呼吸装置を使用する。

手の保護具: 保護手袋を着用する。ポリエチレン手袋を推奨する。手袋材料の浸透時間について情報を提供できる手袋供給者と協力し、最適な手袋を選ばなければならない。
浸透時間: >480 min (*)

眼の保護具: 飛散リスクがある場合は、顔面シールドを着用する。

皮膚及び身体の保護具: 飛散する場合は、エプロンまたは保護衣を着用する。

衛生対策: 取扱い後に手を洗う。

環境暴露管理: 該当なし。

安全データシート

製品名:	トランスコピー液 (TRANSCOPY LIQUID)	ページ数:	5/9
最終改訂日:	2020-01-30	印刷日付:	2020-01-30
文書番号:	M0001	安全データシート整理番号:	JP-JA/20.0

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理化学的特性に関する情報

形態:	液体
色:	無色
臭い:	アルコールの匂い
臭気閾値:	該当なし。
pH:	該当なし。
融点:	-83°C
沸点:	77°C
引火点:	-4°C
蒸発速度:	該当なし。
可燃性 (固体、気体):	該当なし。
爆発性:	2,1-11,5 vol%
蒸気圧:	93 hPa (20°C)
蒸気密度:	該当なし。
比重:	0,9
溶解性:	部分的に水に可溶である。
分配係数 (n-オクタノール/水):	0,73 (20°C)
自然発火温度 (°C):	460°C
分解温度 (°C):	該当なし。
粘度:	動的粘度: 0,44 mPa*s (20°C)
爆発性:	該当なし。
酸化特性:	該当なし。

その他のデータ

他のデータ:	揮発性有機化合物 (VOC) : 902 g/l (計算)
--------	-------------------------------

安全データシート

製品名:	トランスコピー液 (TRANSCOPY LIQUID)	ページ数:	6/9
最終改訂日:	2020-01-30	印刷日付:	2020-01-30
文書番号:	M0001	安全データシート整理番号:	JP-JA/20.0

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性: 使用可能なデータはない。

化学的安定性

安定性: 通常の温度条件の下で安定。

危険有害反応可能性

危険有害な反応: 使用可能なデータはない。

避けるべき条件

避けるべき状態/物質: 熱、炎及び他の発火源を避ける。

混触危険物質

不適合物質: 強酸化物質。

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物: 使用可能なデータはない。

11. 有害性情報

毒物学的影響に関する情報

急性毒性 (経口): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

急性毒性 (経皮): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

急性毒性 (吸入): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

皮膚腐食性/刺激性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 強い眼刺激。

呼吸器または皮膚感作性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

生殖細胞変異原性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

発がん性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

生殖毒性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

特定標的臓器毒性 (単回曝露): 眠気又はめまいのおそれ。

特定標的臓器毒性 (反復曝露): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

吸引性呼吸器有害性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

吸入した場合 蒸気及び噴霧ミストは、喉及び呼吸系を刺激して咳を起こすことがある。高濃度の蒸気は麻酔性であり、頭痛、疲労、めまい及び吐き気を起こすことがある。

皮膚への接触: 長期接触は、発赤、刺激及び乾燥皮膚を起こすことがある。

経口摂取: 刺激し、倦怠感を起こすことがある。

特有の影響: 高濃度蒸気の長期または頻繁な吸入は、脳を含む神経系に永久的損傷を起こすことがある。

安全データシート

製品名:	トランスコピー液 (TRANSCOPY LIQUID)	ページ数:	7/9
最終改訂日:	2020-01-30	印刷日付:	2020-01-30
文書番号:	M0001	安全データシート整理 番号:	JP-JA/20.0

12. 環境影響情報

生態毒性

生態毒性: 製品の環境に対する危険有害性は限定的と見なされる。

残留性・分解性

分解性: 製品の分解性は表明されていない。

生態蓄積性

生物濃縮性: 分配係数 (n-オクタノール/水): 0,73 (20°C)

土壤中の移動性

移動性 使用可能なデータはない。

PBTおよびvPvB評価の結果

PBT/vPvB: 使用可能な情報はない。

その他の有害影響

その他の有害影響: 使用可能な情報はない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物: 廃棄物及び残留物は、現地当局の要件に従い廃棄する。廃棄物は危険有害性廃棄物に分類されている。

汚染容器及び包装: 廃棄物及び残留物は、現地当局の要件に従い廃棄する。

安全データシート

製品名:	トランスコピー液 (TRANSCOPY LIQUID)	ページ数:	8/9
最終改訂日:	2020-01-30	印刷日付:	2020-01-30
文書番号:	M0001	安全データシート整理番号:	JP-JA/20.0

14. 輸送上の注意

製品は、危険物の輸送に関する国際規制 (IMDG、ICAO/IATA) の対象となります。

国内規制

海上規制情報: 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報: 航空法の規定に従う。

陸上規制情報: 消防法の規定に従う。

国連番号

UN 番号: 1173

品名

品名: ETHYL ACETATE - 酢酸エチル

IMDG追加情報:

EmS: F-E, S-D

MFAG: 1

国連分類

国連分類: 3

容器等級

PG: II

海洋汚染物質

海洋汚染物質: いいえ。

環境有害物質、固体: いいえ。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

特別な注意事項: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。危険物の運搬中、危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。移送時にイエローカードの保持が必要。
緊急時応急措置指針番号: 129

MARPOL73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

バルク輸送: 該当しない。

安全データシート

製品名:	トランスコピー液 (TRANSCOPY LIQUID)	ページ数:	9/9
最終改訂日:	2020-01-30	印刷日付:	2020-01-30
文書番号:	M0001	安全データシート整理番号:	JP-JA/20.0

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

(*)

特別規定

労働安全衛生法: 酢酸エチル
労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則: 第二種有機溶剤等: 酢酸エチル
毒物及び劇物取締法: 酢酸エチル
水質汚濁防止法: 酢酸エチル
消防法: 第四類 引火性液体, 第一石油類。

国内規制:

化審法
JIS Z 7252:2014. GHS に基づく化学物質等の分類方法.
JIS Z 7253:2012. GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル, 作業場内の表示及び 安全データシート (SDS)
許容濃度等の勧告 (2018 年版)

16. その他の情報

使用者は、正しい作業手順について指示され、これらの指示書の内容に精通していなければならない。

以下の項目は、改定または新たな記述を含む。: 1, 2, 8, 15.

(*)は、前バージョンからの変更を示す。

DHIによって認可。



安全データシートに使用した略語及び頭字語:

PBT = 難分解性、生体蓄積性、毒性を有する物質。
vPvB = 高残留性、高蓄積性を有する物質。

その他の情報:

GHSによる分類:
計算方法。

本データシートの情報は当社の最新のデータであり、本製品が規定された条件下で、かつ、パッケージおよび/または技術手引文書に指定された適用方法に従って使用されれば、信頼できるデータである。本製品を他の製品や他のプロセスと組み合わせて使用するなど、規定外の使用をした場合はその使用者が責任を負うものとする。

DHI-環境毒物学部によって制作された文書、DHI現住所: Agern Allé 5、DK-2970 Hørsholm、デンマーク。
HP: www.dhigroup.com.